

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	総合演習 II		
担当者(Instructors)	宮本 佳範	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)
この演習では、地域と観光に関する企画に取り組み組むことを通して、想定される顧客（ターゲット）のニーズを把握し、それに適した商品やサービスを考える視点を学びます。自ら考え、発案し、話し合うプロセスを重視するため、具体的には学生たちで話し合っ決めてもらいます。これまでの例だと、ビジネスで名古屋を訪れた人をターゲットにした日帰り名古屋見どころマップ作りなどです。テーマは観光ですが、企画を考えるプロセスなどはいわゆるジェネリックスキルの育成につながるという意味で観光以外の分野を目指す人にも意義があると考えています。その他、外部と連携する機会があれば優先的に取り組みます。

■授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	グループワーク中心で行います。 なお、必要に応じて7回を超えない範囲でメディア授業（オンデマンドもしくはオンライン）を実施する場合があります（その場合もリモートでの話し合いや質疑応答の機会を設け、また必要となる授業時間外の学習も対面の場合と同じです）。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス	今後のやり方等について説明する。	☐
第2回	活動テーマを決める(1)	何に取り組むか、学生同士で話しあい決めてもらいます。	☐
第3回	活動テーマを決める(2)	何に取り組むか、学生同士で話しあい決めてもらいます。	☐
第4回	取組む作業の明確化	今後どのようにして活動をすすめていくのか、具体的に計画してもらいます。	☐
第5回	グループでの作業(1)	計画にしたがって、グループごとに作業をすすめていきます。	☐
第6回	グループでの作業(2)	計画にしたがって、グループごとに作業をすすめていきます。	☐
第7回	ゼミ内発表(1)	ゼミ内で発表を行い、学生同士で改善点を出し合う。	☐
第8回	ゼミ内発表(2)	ゼミ内で発表を行い、学生同士で改善点を出し合う。	☐
第9回	修正作業	最終的な修正作業を行う。	☐
第10回	修正作業と完成	最終的な修正作業を行い、企画を完成させる。	☐
第11回	今後の説明	これからやってもらうことの説明を行う。	☐
第12回	ゼミ発表会準備(1)	ゼミ発表会に向けて、話し合った内容をまとめる。	☐
第13回	ゼミ発表会準備(2)	ゼミ発表会に向けて、話し合った内容をまとめる。	☐
第14回	ゼミ発表会	ゼミ発表会で発表する。	☐
第15回	自己評価	自分のこれまでの取り組みなどを振り返り、自己評価を行う。	☐

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)
日常的に観光やまちづくりに関するニュース等をチェックして、最新の動向を知る。 授業の前に情報収集およびアイデア整理を行い(2時間程度)、授業後はその日の議論を踏まえて企画内容修正等を行う（2時間程度）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)
行った作業に対して、その都度コメントする。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	これまでに身に着けた知識・技能を活用することができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	独自のアイデアを考え、そのアイデアを適切に表現することができる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	主体的かつ協調性をもって行動することができる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			40%	60%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents) 「授業内試験」は企画の出来栄など、「その他」は活動への積極性や協調性等から総合的に評価します。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて指示します。	
2		
3		
4		
5		